

総合戦略「まち専門部会」課題とアイデア一覧

■まち1班

カテゴリー	No.	課題	アイデア	
駅周辺開発	1	鞍手駅前活性化	駅ロータリーの屋根設置	農地との共生
		さびしい駅前	乗降客増加の駅でのイベント開催	農業と連携した新しい駅前を目指す
		鞍手駅周辺開発の再開	居酒屋・飲食店の誘致	保育所等の隣接(働く母親等の支援)
		JR駅の周辺がいつまでも未開発	駅前に住宅の建設	病院併設
		鞍手駅前がさびしい	商業施設とのつながり(食品・カフェ等)	高齢者向け住宅の建設
		駅が活かしきれていない	コンビニ出店	
			どこにでもある駅前にしない	
まちに魅力がない	2	まちの中心が明確でない	ルネッサンス通りの活性化	
		目的地に行くために通過する町	ロードサイド飲食店の誘致	
		宗像・直方からの回遊性がない	鞍手町に行く目的づくり	
		地図上の中心は賑わいの中心ではない	中心を明確に諸施設集約	
		道路沿線、空き地、町有地等の管理(草刈)等の美観がもう少し	道の駅のような施設が造れないか	
		人が集う整備された公園がない	町の特産品を一か所に集中させた道の駅の開発(立ち寄れる名所)	
		これといった名勝、名物がない	統一のデザイン	
		町を盛り上げるイベントなどが無い	まちの魅力の再発見、掘り起し	
		特徴あるまちの魅力がみえない	鞍手町といえばという代名詞になるイベント	
		自然とまち中の調和	交通ネットワークと連動して考える	
認知度、知名度が低い				
公共交通	3	交通ネットワークが弱い	10人乗りくらいのバスの運行	
		駅前からの利便性が悪い	町民による交通手段の構築(乗合車)	
		JR、西鉄、コミュニティバスのリンク	直方PA パーク&ライド	
		道路整備の充実	乗り継ぎ情報提供	
		道路が狭い、危険		
		交通網の整備		

総合戦略「まち専門部会」課題とアイデア一覧

■まち2班

カテゴリー	No.	課 題	アイデア	
開発(IC・駅前)	1	インター付近の開発	牛舎(鶏舎)の移動	町が主導する開発
		駅周辺の開発	民間活力の利用	町民グラウンド付近を商業施設に
		鞍手町の中心はどこ？	核となる商業施設が必要	
		インター付近、駅付近のニオイ	土地利用しやすい環境	
定住促進	2	アパート等の不足	入居者への家賃補助	
		若い人が住むところが少ない	空き家をリフォームして提供する	
		住宅用地の確保	相続対策としてアパート経営促進	
		住宅用地が少ない	おためし居住	
		定住の促進		
子育てしやすい環境	3	子育てをしやすい環境づくり	子ども一人に対しての補助金	
		子どもの減少	公園整備	
		子育て世代をどうフォローするか	保育園・幼稚園・小学校の整備(充実)	
		子どもの遊ぶところが少ない	小児科をつくる(町有地を提供)	
			医療村をつくる	

総合戦略「まち専門部会」課題とアイデア一覧

■まち3班

カテゴリー	No.	課題	アイデア	
住宅	1	若い人が住めるアパート等が少ない	アパートを増やす	利用のない土地を売る
		住宅用地が少ない	アパートを建てる奨励金を出す	町有地を売る
		若者が住むアパートが少ない	空き家を利用する	戦略的な用地整理
		住宅街、町の中心に水害が起こりやすい	公共用地を再利用する、売買	用途地域を見直す
			定住の部署NPO等をつくる	
住みやすいまちづくり(ハード)	2	町のコレ(キラークンテンツ)がない(コンテンツ資源)の整理が不足	まずは町民に町の良さを知ってもらう	
		駅前に何も無い	駅前に買い物をするところをつくる	
		商業施設が少ない	文化施設(ミュージアム)等つくる	
		情報(特にスポット等)の収集サイト(Web)がない	中学校の所に役場等を集める	
		お金を落とすところが少ない	大きな図書館	
		駅のまわりに何も無い	主要施設の集積(コンパクトシティ)	
		彼岸花の咲く農村を目指す(鬼ユリ、鹿の子ユリ)		
		駅、IC付近のニオイがすごい		
		人々が集まる施設が少ない		
		年寄りか住みやすいまちづくりができていない		
駅、IC付近のニオイが気になる				
公共交通(バス)	3	高校、大学は駅までの送り迎え	公共交通を整備する	駅に時間をつぶす場所をつくる
		スマイルバスが利用しにくい(時間、特に朝)	近隣の町との交流をはかり、交通の便等の向上をする	
		駅と主要エリアとの距離が遠い	スクールバス化	
		子どもを毎朝送り迎えしている	タクシーを町外の人にも使えるように	

総合戦略「ひと専門部会」課題とアイデア一覧

■ひと1班

カテゴリー	No.	課 題	アイデア	
公共交通	1	公共交通が不便	道路拡張	
		交通が不便	駅周辺の整備(駐車場)	
		公共交通機関の利用が不便(福岡・北九州市へ)	自転車シェア	
		交通の便が悪い		
買物	2	商業施設(町内で買物できる大型・中型)	ショッピングモール設置	
		買物に不便		
医療・子育て・教育	3	幼→小→中 さらに高といった一貫教育	子ども園(保幼一体)の充実	
		子育て中の親たちの交流の場がない	著名な町主審の活用(教育)	
		県内では小中学力が低い(教育事務所管内ではよい)	大学生のボランティア	
		高齢化	大学との協働実践研究	
		悪くなって病院にかかる人が多い		
		医療施設		
		高齢者の見守り		

総合戦略「ひと専門部会」課題とアイデア一覧

■ひと2班

カテゴリー	No.	課 題		アイデア
出会いの場がない	1	若い男女の出会いの場がない	若い男女の興味を持てるものがない	イベントの開催(まちコン)
		若い世代が集まれる場	若い層が住みたがらない(マイホームは他の地域で建てる)	若い人が働ける場所
		若い世代の定住	働く企業が少ない	職業別、興味、コンパ
		住環境の整備	遊べる施設がない	若い人の発信のまち
		若い男女が集まらない		農業など体験ツアー(ぶどう)
子育てしにくい	2	産婦人科、小児科がない	児童数の減少	しっかりと小児科があれば
		病院の数	遊び場の不足	子育て支援が必要(子育てできる環境の充実)
		病院(子ども用)	子どもを預かってもらえるところが少ない	遊び場のスペースの確保
		小児科&産婦人科常設	少子化(出生率の低下)	児童館
		小児科がない(週2回くらて病院)	小児科(病院)が少ない	子どもと高齢者のふれあいの場
		少子化	中学校統廃合で遠くなった	託児所増設
		出生率の低下	遊べる施設がない	子育て支援(町から祝い金を出す)
				小児科病院の整備
				公共交通機関の整備
				スクールバスの導入
		遊園地・講演の設置		
高齢者が住みにくいまち	3	交通機関の不足	介護センターが少ない	もう少し充実を!!(交通)
		道路の整備(橋からインター)	一人暮らしが多い	買物支援
		コミュニティの高齢化	交通機関が不便	買物代行(地域全体で)
		高齢化による移動の安全面	税金が高く年金暮らしでは生活がきつく難しい	地域によろずや店復活
		買物をするための交通手段が少ない	買物する店が少ない	地域の方々が運営する店
		買物の不便さ	病院が少ない(救急対応)	介護センターの設置
		少子高齢化	60歳以降働く仕事がない	定期的な訪問
				公共交通機関の整備
				(タクシー代金補助)
				高齢者の減税対策
		スーパー等が少ない(道の駅含む)		
		くらて病院の充実		
		企業への協力依頼		

総合戦略「ひと専門部会」課題とアイデア一覧

■ひと3班

カテゴリー	No.	課 題	アイデア
ビジョンがない	1	話題性がない	イベント・町としての企画が少ない
		このまちに一つというものが無い	IC降りて通過点でしかない
		何かをして一日過ごせるところがない	町をどうしたいのか、どんなカラーに
		娯楽施設がない	ママ向けの講演会や講座等が少ない(もしくは、ない)
		地域資源を活かしきれていない	
施設の整備	2	土地は安いが区画整理されていない	公共施設中途半端
		道路がデコボコ	交通手段が少ない
		せまい道が多い	夜暗くて不安
		小学校が多い	若者の定住化に向けた取り組み
		中心地(メイン)が地形的に見てずれている	これといった売り(食べ物・人・観光・)
		アパートの物件が少ない	おしゃれなランチや人が集まれる場所がない
		公共施設が老朽化している	
活気がない	3	子どもが少なすぎる	人同士のつながりが中途半端
		若年層、特に20～25歳が少ない	高齢者の増加
		子どもの減少、人口減少	高齢化している
		小児科がない	高齢化になり、税収減
		鞍手に残る若者が少ない	買物が不便(特に独居高齢者)
		子どもの学力向上	ボランティア等の人材不足
		スポーツ人口の減少	過去にこだわりすぎ(新しいものを拒む)
		子どもの体力低下	資産が外部へ入出(相続)
		地域のつながり	

総合戦略「しごと専門部会」課題とアイデア一覧

■しごと1班

カテゴリー	No.	課 題	アイデア
情報発信ができていない	1	認知度、知名度が低い	IT環境整備(光、wi-fi)
		町の名が知られていない、読めない(わかりにくい)	名づける(愛称)
		アピール不足(ぶどう、ホタル等)	SNSの戦略的活用
		県内外の知名度が低い	サイン整備
		道路がわかりにくい	町民、総情報発信者運動(スマホ、PC)
		「鞍手」とあちこちに書かれているがルビがない(地名を読めない人多数)	ターゲットを設定した情報発信の取り組み
地域資源を観光資源に活かしてきれていない	2	観光資源と呼べるものがない	これといった名勝・名物がない
		鞍手町に行こう(遊びに、買物に)という楽しいものがない(知らない)	昼食をする場所が少ない
		特産品が少ない	炭坑のまちのイメージがうすい(石炭資料館の有効活用)
		文化財の紹介	鞍手インターを利用すれば福岡・北九州市から近い(車移動の利便性が活かされていない)
		ICを降りてから町に入る場合「おおっ!!」とくるものがない	直方・宗像ラインからの回遊性がない
		ツーリズム事業のプログラムがない(産業・観光・自然・景観めぐりなど)	
仕事を選べる環境が整っていない	3	働きたい、職種が少ない	飲食店も少ない
		働くために必要な公共交通がない	事業用地や住宅用地はたくさんある(活用されていない)
		駅からの利便性が悪い(バスはあるが本数が少ない)	交通機関バス、JR不便
		仕事を選べない	鞍手駅前がさみしい
		食品関連の製造業が少ない	JR鞍手駅からの公共交通機関の便数が少なく不便
		産業についてさまざまに特徴高いものがあるが、その存在の認知の向上に努力不足(タカラスタンダード・畜産業(肉・たまご)巨峰栽培など)	

総合戦略「しごと専門部会」課題とアイデア一覧

■しごと2班

カテゴリー	No.	課 題	アイデア	
商業施設の不足	1	町としての魅力あるPRが不足している	施設の集約	
		観光地が少ない		
		町の知名度が低い		
		飲食店が少ない		
		宿泊施設かない		
		商店街がない		
子育て世代が少ない	2	小児科がない	出産手当(一人当たり〇〇万円)	
		子どもの数が少ない	団地の造成	
		小学校生徒の減少	図書館の充実	
			おためし居住	
IC・駅周辺の整備と環境	3	駅・IC周辺のおいの問題	駅周辺の用地変更	
		におい	畜産施設の移転	
		鞍手駅周辺整備の遅れ		
		インター周辺整備		

総合戦略「しごと専門部会」課題とアイデア一覧

■しごと3班

カテゴリー	No.	課 題	アイデア
ICT環境	1	ネット環境が十分ではない ネット環境が悪い 積極的に鞍手町に住もうと思うほどの魅力がない 高校(公立)など選べる数が少ない くらてとえば・・・ない	行政主導で庁内全域に光通信を整備する 通信事業者へトップセールスを行う
若者	2	若者向けのお店がない 若者向けのお店がない(若者の減少) アパートがない 住みたいと思われるメリットがない 鞍手インター降りて通過点	若者がチャレンジできるような環境を整える(チャレンジショップ支援) 民間主導で宅地開発やアパート建設をやってもらう 旧中学校を活用 町民の協力、町民のモチベーション
町の目玉	3	観光地がない 町民発信のものあるのかな？ 特産品が少ない うまくプロモーションできていない 特産品が少ない	地域発信のお祭り 音楽イベント等の開催 JRでなく、車とかキャンピングカー、学校利用 学校利用 若い主婦ハンドガイドサークル